

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		湘南こども村 やまぶき		公表日		2026年 3月 25日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	1	・各々の好きな遊びや活動によりパーティションで区切ったり、安全に配慮しながらスペース確保に努力している。	・こどもたちの成長に合わせて、より柔軟な空間活用をしていく。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11	0	・利用時間(午前授業や長期休み)に応じて職員配置を調整し、専門的支援も行い手厚い人員配置となっている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11	0	・ホワイトボードを用い、視覚的に分かりやすい掲示(絵カード、時計の図)を行い、見通しを立てやすい環境づくりをしている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	0	・清掃を毎日徹底し、整理整頓はこどもたちと一緒にすることで、落ち着いて活動できている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	1	・状況に応じてパーティションを用い個別で落ち着けるスペースを確保している。	・完全な個室確保が難しいため、状況に応じて工夫しながら対応していく。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	11	0	・日々の振り返りや職員会議を通して支援の改善につなげるよう努めている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0	・保護者からの意見や要望を職員間で共有し、支援の見直しや改善に活かしている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0	・ミーティング等でわからないことは質問したり、よりよい療育につなげられる方法があれば取り入れている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	6	・現在第三者評価は実施していないが、自己評価や保護者からの意見をもとに支援の改善に努めている。	・自己評価について全職員が内容を把握できるよう周知徹底する。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	0	・定期的に研修を事業所内で行うだけでなく、外部研修にも参加している。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11	0	・こどもの発達や特性に応じた支援プログラムを作成し、保護者へSNSで周知している。	・支援プログラムはホームページに掲載しているが、保護者への認知度が十分とは言えず、周知方法の工夫が必要。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	11	0	・日々の様子や保護者からの聞き取りをもとにアセスメントを行い、ニーズや課題を整理して支援計画に反映している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11	0	・児童発達支援管理責任者を中心に職員間で意見交換を行いながら計画作成している。	・職員間での理解や共有に差ができないよう、情報共有の強化に努める。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11	0	・支援計画の内容は職員間で共有し共通理解のもとに支援を行っている。 ・計画がいつでもみられるように個人ごとにファイリングされている。	・職員間での理解や共有に差ができないよう、情報共有の強化に努める。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	・更新のタイミングでアセスメントを参考にしている。 ※無回答2人		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	0	・ガイドラインを踏まえ、こどもたちの発達や生活に必要な支援内容を計画に反映している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11	0	・活動プログラムは職員間で相談しながら作成している。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	0	・好きなプログラムは繰り返し行うこともあるが、目標や課題を再設定し、飽きが来ないようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	11	0	・各々の好きな遊びの時間と外遊びや帰りの会等の集団活動(鬼ごっこ、野球、かるた)の時間を設定し大切にしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	1	・支援前に職員間で打ち合わせを行いホワイトボードで役割分担も明確にしている。	・さらに効率的な打ち合わせを検討していく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	1	・支援後に振り返りを行うことで、気づきや次回の支援での注意点等意識する機会になっている。	・全職員で振り返りの時間をとれないため、内容理解にばらつきがないよう普段から職員間のコミュニケーションを大事にする。。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	1	・可能な限り記録を残し、職員間で共有し、改善につなげるよう心がけている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	1	・日々の様子を共有しながらモニタリングを行い必要に応じて支援計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	11	0	・生活訓練や創作活動、集団遊びを取り入れ、こどもの発達や興味に応じて活動を組み合わせ支援している。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	0	・それぞれのこどもに応じて方法を工夫している。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	0	・こどもの状況をよく理解している児発管が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	0	・関係機関と情報交換、共有し支援につなげている。	・連携の頻度や方法にばらつきがあるが少しずつ連携体制を整えている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	11	0	・学校への送迎時に情報共有を行っている。	・連携方法の工夫、情報共有の質の向上に努める。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	1	・必要に応じて情報共有を行うよう心がけている。 ・少しずつ他機関とのつながりができ連携の輪が広がっている。 ※無回答1名	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	2	・日頃から関係機関と連携し、進路や移行支援についても必要な情報提供を行っている。 ※無回答1名	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	4	・センターとは限られた連携しかとれていないが、代わりに市内の連絡会と連携を図り、研修も行っている。 ※無回答1名	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8	3	・外遊びで小学校の校庭に出かけ、放課後児童クラブや地域の子どもと交流する機会がある。	
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	9	1	・こども部会に管理者が参加している。 ※無回答1名	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11	0	・送迎時、LINE等で日々の様子を保護者へ丁寧に伝え、共通理解を図っている。		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	2	・研修はなかなか設定できていないが外部の案内を提供したり、支援のアドバイスは適宜行っている。 ※無回答1名		
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	0	・利用に関する説明を丁寧に言い、安心して利用できるよう心がけている。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	0	・こどもや保護者の意向を確認しながら進めている。		
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11	0	・放課後等デイサービス計画の内容を保護者へ説明し、理解と同意を得た上で支援を行っている。		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11	0	・保護者からの相談には可能な限り対応している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	8	3	・父母会はないが、親子遠足等で交流を図っている。 ・保護者同士の交流が深まるような機軸はあるが、きょうだい同士についてはなかなか難しく、支援する段階までには至っていない。	・茶話会等、保護者が参加しやすい交流支援を検討したい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	0	・苦情受付体制を整え、迅速な対応を心がけている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11	0	・ホームページやSNSを活用し活動内容を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	0	・個人情報の取り扱いについて職員間で共有し適切に管理している。 ・連絡帳上での個人名の記入について一人ずつアンケートを実施して上で閉まっている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	0	・こどもの特性に配慮した伝え方を工夫するとともに、保護者には丁寧に伝えるよう心がけている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	8	・近隣の看護大学生のボランティア受け入れをしている。 ・過去には絵画教室の先生をお招きしたこともあった。	・地域との関わりを大切にし、地域理解を深める取り組みを検討したい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11	0	・各種マニュアルを整備し、緊急時に対応できる訓練を行い、保護者に周知している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	0	・BCPを踏まえた対応体制を整え、災害時に備えている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	1	・健康状態、既往歴について事前に確認し新年度に更新している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	3	・医師の指示書はないが、食物アレルギーについて事前に把握し対応している。 ※無回答1名	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	0	・安全管理を意識し、事故防止に努めている。 ※無回答1名	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	0	・こどもの安全に関する情報をSNS等で発信し、保護者へ周知している。 ※無回答1名	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	0	・ヒヤリハットを記録し、職員間で共有することで、事故防止につなげている。 ・事例を記入したファイルがあるので、時間のあるときに確認することができる。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	0	・虐待防止研修や職員間での共有を行い適切な支援が行えるよう務めている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	11	0	・身体拘束に関する方針について、保護者へ説明し理解を得たうえで同意書にて内容を共有している。		